

環境リサイクル肉牛協議会第 18 回総会  
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 9 回通常総会

【議事録】

開催日時：2017 年 6 月 3 日（土） 午前 10 時 00 分から ホテルグランテラス帯広  
会議次第

1. 総会成立の要件 出席者数 12 委任状数 10 有効成立率  $22/28=79\%$
2. 開会挨拶  
榛澤代表；3 月末の怪我より回復 今後も会を見守っていききたい。
3. 議事録署名人 1 名の選出、書記 1 名選出  
議事録署名人；左 久理事 書記；岩崎氏(マルハニチロ株) 選任了承
4. 議事  
議長選出；嶋村副理事長  
議案説明；花房事務局長
  - 1) 第 1 号議案 2016 年度事業報告及び収支決算に関する件 下記記載 ⇒承認  
監査報告 奈良岡監事；事業をより活発にしてください
  - 2) 第 2 号議案 2017 年度事業計画及び収支予算に関する件 下記記載 ⇒承認
  - 3) 第 3 号議案 そのほか
    - ①役員改選 2 年任期 2017～2018 年度  
選出方法 会員に問う。役員留任との意見が出たが、榛澤理事長の体調不良から退任意向が強い旨を伝え、事務局案を提示した  
事務局案；理事長に嶋村副理事長、ほか理事は留任 ⇒承認
    - ②インターネットアドレス変更連絡・メールアドレス変更  
ドメインを e-beef.jp に変更 「e-びーふ」を前面に出す  
ホームページ <http://www.e-beef.jp/>  
事務局アドレス kanrikyo@e-beef.jp
5. 閉会  
新理事長挨拶；嶋村氏 片道 4 時間雄武町より来ているが、2 年間ピンチヒッターで務めさせてもらいます

≪議案詳細≫

第 1 号議案

I. 2016 年度事業報告

1. 2016 年度会員募集 (2017 年 3 月末)

個人会員 16 名 (±0)

団体会員 12 団体(-1) 合計 28(-1)

内訳) 生産者・生産者団体 9

食肉流通業者 3(-1) 蒼生舎ミート脱会

消費者団体	1
学研・指導機関	9
飼料業者	6

## 2. 総会・理事会等の開催

### 1) 第17回総会

- 2016年6月4日(土)ホテルグランテラス帯広 出席16名委任状4名 合計20名
- ・2015年度事業報告・決算報告
  - ・2016年度事業計画・予算 以上承認
  - ・役員改選は2年任期なので今回は無

### 2) 理事会

- 第1回 2016年6月4日(金)グランテラス帯広 総会前打合せ  
 第2回 2016年11月10日(木)とかちプラザ シンポジウム前日打合せ  
 第3回 2017年1月29日(金)新得町 北海道畜産試験場研修施設：8名  
 ①シンポジウム総括 ②新年度事業  
 第4回 2017年4月7日 総会準備・2017年シンポジウム企画打合せ

### 3) カルビー ポテトピール検討会；開催できず

## 3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催

### 1) 学術情報の収集

関連加入団体 7ヶ所 年会費 26,500円

肉用牛研究会	(事務局/京都大学 年会費/3,000 個人窓口/左)
日本畜産学会	(東京 公益社団法人 4,000 左)
日本産肉研究会	(東北大学大学院農学研究科 5,000 団体)
畜産システム研究会(京都大学畜産資源学)	3,000 花房)
北海道畜産草地学会(道総研畜産試験場)	2,500 左)
北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会)	4,000 左)
北海道有機認証協会	5,000 花房)

### 2) 肉牛飼養技術研修会の開催

- 第1回 6月4日(土)10:00~場所：ホテルグランテラス帯広 参加22名  
 ・放牧およびとうもろこしサイレージ給与による牛肉生産

道総研 畜産試験場 遠藤研究員

- 第2回 1月27日(金)14:00~場所：新得町北海道畜産試験場内研修施設 10名

(1)道産牛肉のおいしさについて 道総研畜産試験場 大井研究員

(2)黒毛和種の育成期における2番牧草サイレージ主体 TMR 給与技術 同 遠藤研究員

## 4. 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016の開催

### (1) シンポジウムテーマ：「自給飼料100%活用肉牛生産への挑戦」

日 時：2016年11月11日(金) 13:00-17:00

会 場：とちぎプラザ（帯広市）2階 視聴覚室

同時開催：地方特定品種全国推進会議 事務局(一社)全国肉用牛振興基金協会

内 容：

1. 基調講演 「自給飼料 100%で和牛生産の意義」九州大学農学後藤貴文准教授
2. 話題提供
  - 「北里八雲牛の町内生産」北里八雲牛生産組合 佐藤正之組合長
  - 「野生牛” にかける～様似町からの挑戦～」駒谷牧場西川奈緒子代表
  - 「グラスサイレージ給与による和種育成肥育」道総研肉牛G遠藤哲代研究員
  - 「ドライエージング赤身肉のおいしく食べる方法」(株)さの萬 佐野佳治社長
3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表
4. ホテルグランテラス帯広 食味試験 帯広畜産大学 口田研究室主催  
意見交換会 eびーふ試食会 参加者 70名
5. 現地検討会：11月12日(土)午前中 足寄町北十勝牧場  
述べ参加者数：シンポジウム 約140名 現地検討会 30名

## 5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 月刊情報誌「eびーふ NEWS 北の牧場から」 毎月発刊する。
- 2) ホームページ：インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

## 6. 「eびーふ」認証事業 定款5条1-①

- 1) 新たな eびーふ認証農家の発掘できず。
- 2) 「eびーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)

## 7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：
- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成  
北海道アンガス牛振興協議会との連動

## 8. 2016年度収支決算報告

5p 決算書・監査報告参照 議事録⇒7p

決算書の繰越金の一部修正。修正後添付

《質疑応答》 特になし

## 第2号議案

### II. 2017年度事業計画

#### 1. 会員募集

目標会員数 35名以上を目指す。

⇒新規に、渡島農業改良普及センター渡島北部支所 堀内正洋支所長から参加意向あり  
会の運営の収支は、会費が主なので会員募集は皆さんで働きかけしましょう。

## 2. 総会・理事会の開催

- 1) 2017 年度第 18 回総会(NPO 法人第 9 回通常総会)
- 2) 理事会、事務局会議は必要に応じ開催する。

## 3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款5条1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査および参加。  
新規加入 北海道有機認証協会、北海道オーガニックビーフ振興協議会
- 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。
- 3) JAS 有機の格付委託業務（北里 FSC 八雲牧場からの受託、有機牛の肉質調査）

## 4. 第 14 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2017 の企画・開催

定款5条1-④ 別紙開催企画書添付

- 1) 2017 年 11 月 9 日(木) 開催場所；とかちプラザ
- 2) テーマ「マイナー（or 希少）品種の赤身生産と流通」
- 3) 基調講演/ 松崎日本産肉研究会会長(弘前大学教授)
- 4) 話題提供/道総研畜産試験場、北十勝ファーム（N） 関谷牧場(J)ほか

## 5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 「e-びーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の編集・発信。年 12 回
- 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

## 6. 「e-びーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①

- 1) 新たな e-びーふ認証農家の発掘。
- 2) 認証適格農場の実態調査。
- 3) 「e-びーふ」の商標の活用

## 7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：
  - 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成  
→北海道アンガス牛振興協議会・北海道オーガニックビーフ振興協議会(HOBA)と連動  
各牧場定期調査・分析・検討会の開催

## 8. 2017 年度予算案

(6p 予算書 参照) 議事録⇒8p

《質疑応答》

- ・ 11月9日短角全国枝共励会：出品牛予定頭数はどれくらいか？

⇒花房事務局長；現在 27～28 頭/例年＋最大で 10 頭 ～5～6 頭増加目安 東北短角  
枝見る事が出来る。酪農畜産協会山本指導官が事務局なので対応する

- ・ アンガス飼養実態調査の成果は？

⇒佐藤理事；宮北牧場 飼養給与量計算 繁殖メニュー作り提示。宮北氏のように計量  
できると飼養状態検証できる。今後の飼養管理：粕飼料は重たいので ミキサーTMR  
使えば、正確な飼料計算できる。今後の飼料給餌は計量が必須である。費用コストと  
の兼ね合いだが、小さな 2 t 車などで使うなど工夫が必要。肉の品質バラツキが抑え  
られる。草 100%採食量の場合は、どう検証するのかが課題である。

- ・ 北里大学の牧草 タンパク高く栄養価高い。釧路の放牧地でどの程度 発育するのか？  
草地改良やマメ科入れる改良が必要では？春先は良いが、リードは丈伸びると厳しい  
のでは？

⇒嶋村氏：泥炭地リード中心でも早刈進めるとチモシー・オーチャードも出てくる。  
穂が出るまで 1 m～2 m になり、栄養価無くなる。40～50 cm で刈り取る。1 番草を  
採草して、ラップサイレージとする。乾草にはならないが榛澤牧場はヘイレージにし  
ている。6 月は 4 日間天気続かないと乾かない。根釧地区では 5 月末 1 番草～チモ  
シー主体（天北・根釧）で草地改良地ではチモシー増えている。永年草地はオーチャ  
ードに変わってくる。乾草は栄養価高い状態で刈り取りは必須である。放牧・草は飽食  
でマメ科非常に大切。簡易更新（草地）ではマメ科だけ播種するなど技術が必要。オ  
ーガニックは化学飼料不可：マメ科が窒素飼料代わり。永年草地は酸性になり易い⇒  
石灰使用は認められているもの使えば大丈夫。

- ・ オーガニックアンガスマニュアルについて：飼養基準を決めて実施検討中。

⇒佐藤氏：津別ではオーガニックデントコーン製造して給餌している。釧路地区はデン  
トコーン難しいが⇒ひまわり給餌など試験場研究中。じゃがいも GM 無：カルビー  
で飼料証明書出せる。北里 FSC 八雲牧場では草だけの給餌で、25.6 ヶ月枝肉 526  
kg の成績が出ているのは脅威だ。北里は早く刈る⇒量より栄養価重視。サレールや短  
角種は乳肉兼用種なので乳量が多いのも影響し子牛の発育は良い。

第3号議案 その他

1. 協議会の運営体制

- |                      |             |                             |
|----------------------|-------------|-----------------------------|
| 1) 総務担当              | 協議会の運営、会計事務 | (事務局)                       |
|                      | NPO 法人会計事務  | (外部委託：クラウド会計 freee、竹川会計事務所) |
| 2) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 |             | (左理事)                       |

- 3) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
- 4) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)
- 5) e-びーふ news 編集・ホームページ担当 (事務局)
- 6) 「e-びーふ」認定委員会 (畜試)
- 7) 補助事業申請・運営 (事務局)
- 8) 飼料事業の推進 (畜試・事務局)
- 9) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催 (畜試・事務局)

事務局体制の充実：

## 2. 肉牛事業について

- 1) e-びーふ経産牛の肥育事業；調査実施中
- 2) オーガニックビーフ生産事業

以上。

2017年6月3日

議事録署名人；左 久

書記；岩崎 方保



## 2016 年度決算書

## 収入の部

項 目		予 算	決 算	備 考
1)会費・入会金	個人	102,000	88,000	今年度分 13 人 過年度分 2 人
	団体	240,000	180,000	9 団体
2)寄付金	シンポジウム協力金	120,000	88,000	北ア協、北海道短角牛振興協議会
	事業助成金		43,000	全国肉用牛振興基金協会、十勝農協連
4)事業収入	普及活動事業参加費	150,000	275,500	e-びーふ試食・意見交換会参加費
5) その他の収入		15,000	30,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	80	4	北洋銀行
6) 前期繰り越し金		305,921	305,921	
合 計		933,001	1,010,425	

## 支出の部

科 目		予 算	決 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	100,000	0	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	120,000	111,364	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	0	
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	150,000	417,977	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	105,000	52,592	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	0	理事会旅費・事務局交通費
	通信費	6,500	6,120	NTT 電話代、郵送料
	会議費	55,000	50,479	理事会・総会経費
	備品・消耗品費	10,000	6,824	PC システム前払い処理
	賃借料	0	12,750	とちプラザ全国肉用牛振興基金協会
	雑費	35,000	32,616	会計処理料
合 計		581,500	690,722	
繰越金		305,921	319,703	
預金	北洋銀	453,817	470,397	
現金		280	4,306	
前払い費用		6,824	0	
合計		460,921	474,703	
預り金		155,000	155,000	左理事
繰越金		305,921	319,703	
合計		460,921	474,703	

監査報告；

2016年度収支決算について監査の結果、各項目毎に正確・適正に処理されている事を認めます。

2017/6/3

監事 内藤 順介

監事 奈良岡 武任

予算書 2017 年度

## 収入の部

項 目		前年度決 算	予 算	備 考
1)会費・入会金	個人	88,000	108,000	今年度分 15 人 過年度分 3 人
	団体	180,000	280,000	今年度分 12 団体 過年度分 2 団体
	入会金	0		
2)寄付金	シンポジウム協力金	88,000	88,000	北ア協、北海道短角牛振興協議会
	事業協力金	43,000	30,000	十勝農協連
3)助成金		0		
4)事業収入	普及活動事業参加費	275,500	250,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
5) その他の収入		30,000	75,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	4	4	北洋銀行
6) 前期繰越金		305,921	319,703	
合 計		1,010,425	1,150,707	

## 支出の部

科 目		前年度決 算	予 算	備 考
事業費		0		
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	0	50,000	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	111,364	100,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	100,000	アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	417,977	400,000	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	52,592	100,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	50,000	理事旅費・事務局交通費
	通信費	6,120	6,000	NTT 電話代、郵送料
	会議費	50,479	50,000	総会経費
	備品・消耗品費	6,824	5,000	
	賃借料	12,750	0	
	手数料	32,616	60,000	会計処理料(クラウド会計 freee、竹川会計)
	予備費	0	229,707	
合 計		690,722	1,150,707	